

2016年度環境活動レポート

(対象期間：2016年4月～2017年3月)



三同建設株式会社

作成日：2017年5月15日

□ごあいさつ

環境方針 〈環境理念〉

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ①電力及び燃料の二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）
 - ②廃棄物排出量の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）
 - ③水道水使用量の削減(水資源の保全)
 - ④環境に配慮した製品・資材の購入を推進します
 - ⑤施工時の環境配慮を推進します
3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。
4. この環境方針は、全従業員に周知・徹底します。

制定日： 2014年4月1日

三同建設株式会社
代表取締役社長 細川 恵吾

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
三同建設株式会社
代表取締役社長 細川 恵吾
- (2) 所在地
本 社 大阪府大阪市千代崎2丁目15-15
東京支店 東京都中央区京橋1-14-4京橋TSビル
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 田中 正浩 TEL：06-6584-5528
連絡担当者 臼谷 恵幸・豊森 淳平 TEL：06-6584-5528
- (4) 事業内容
解体工事業
- (5) 事業の規模
売上高 55 億円 (2016年度)
- | | 本社 | 東京支店 |
|-------|---------|------|
| 従業員数 | 57 | 10名 |
| 延べ床面積 | 758.31㎡ | 45㎡ |
- (6) 事業年度 4月～3月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 三同建設株式会社
サイト： 本社、東京支店
対象外： 無し
活動： 鋼構造物解体工事業

□主な環境負荷の実績（全体）

項目	単位	2013年	2014年	2015年	2016年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	190,228	158,595	151,146	125,855
廃棄物排出量					
一般廃棄物量排出量	トン	1,653	1,615	911	854
産業廃棄物排出量	トン	354	485	3,412	505
総排水量	m ³	11,562	7,027	4,335	10,751

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.514 CO₂/kWh
※産業廃棄物排出量の増加に関しては元請現場における解体工事内容により増加。

環境目標及びその実績

(1) 全体（東京支店を含む）

項目	年度	基準年 (2013年) (基準)	2016年 通年		2017年 (目標)	2018年 (目標)
			(目標)	(実績)		
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年比	58,686	55,751 95.0%	44,416 80%	52,817 90%	49,883 85%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年比	127,662	122,553 96%	79,357 65%	121,277 95%	114,894 90%
発電用燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年比	3,880	3,685 97%	2,082 56%	3,608 95%	3,491 90%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	190,228	181,989	125,855	177,702	168,268
一般廃棄物の削減	kg 基準年比	1,653	1,488 90%	854 57%	864 98%	838 95%
産業廃棄物の削減 (建設混合廃棄物)	トン 基準年比	354	347 98%	505 146%	343 97%	327 95%
産業廃棄物の削減	kg 基準年比	0	4,077 98%	0 0%	3,952 95%	3,744 90%
節水	m ³ 基準年比	11,562	10,977 95%	14,270 130%	10,751 93%	10,402 90%
グリーン購入		全体購入費の15%	全体購入費の20%	全体購入費の28%	全体購入費の25%	全体購入費の30%
近隣への環境配慮			事務所欄・現場欄を参照	事務所欄・現場欄を参照	事務所欄・現場欄を参照	事務所欄・現場欄を参照

※発電用燃料に関しては元請現場での使用により大きく変動するので2013年度基準値で据え置く。
 ※産業廃棄物(建設)の2016・2017年度の目標値は2013年度2014年度実績の平均値をもとに算出。
 ※電力・節水に関しては2013年度基準値で据え置き様子を見る。
 ※グリーン購入は2014年実績を基準に置く。
 ※一般廃棄物の2017・2018年度の目標値は2015年度2016年度実績の平均値をもとに算出。

(2) 事務所（東京支店を含む）

項目	年度	基準年 (2013年) (基準)	2016年 通年		2017年 (目標)	2018年 (目標)
			(目標)	(実績)		
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年比	58,686	55,751 95%	44,416 80%	52,817 90%	49,883 85%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年比	32,896	31,579 96%	25,587 81%	31,250 95%	29,606 90%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	91,582	87,330	70,003	84,067	79,489
一般廃棄物の削減	kg 基準年比	1,653	1,488 90%	854 57.4%	864 98%	838 95%
産業廃棄物の削減	kg 基準年比		4,077 98%	0 0.0%	3,952 95%	3,744 90%
節水	m ³ 基準年比	292	277 95%	230 83%	271 93%	262 90%
グリーン購入		全体購入費の15%	全体購入費の20%	全体購入費の28%	全体購入費の25%	全体購入費の30%
近隣への環境配慮 (環境に配慮した施工計画の作成・作成率100%順守)		100%	100%	100%	100%	100%

※産業廃棄物については2016年以降は2015年度実績を基に目標値を設定。
 ※電力・節水に関しては2013年度基準値で据え置き様子を見る。
 ※グリーン購入は2014年実績を基準に置く。
 ※一般廃棄物の2017・2018年度の目標値は2015年度2016年度実績の平均値をもとに算出。

(3) 現場（東京支店を含む）

項目	年度	基準年 (2013年) (基準)	2016年 通年		2017年 (目標)	2018年 (目標)
			(目標)	(実績)		
自動車燃料の二酸化 炭素排出量削減	kg-CO2 基準年比	94,766	90,974 96%	53,770 59%	90,027 95%	85,288 90%
発電用燃料の二酸化 炭素排出量削減	kg-CO2 基準年比	3,880	3,685 95%	2,082 56%	3,608 93%	3,491 90%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	98,646	94,659	55,852	93,635	88,779
産業廃棄物の削減 (建設混合廃棄物)	トン 基準年比	223 (2013年)	347 98%	505 146%	343 97%	327 95%
節水	m ³ 基準年比	11,270	10,700 95%	14,040 131%	10,480 93%	10,140 90%
近隣への環境配慮 (低騒音・低振動型重機 の完全使用)		100%	100%	100%	100%	100%

※発電用燃料に関しては元請現場での使用により大きく変動するので2013年度基準値で据え置く。

※産業廃棄物の2016・2017年度の目標値は2013年度2014年度実績の平均値をもとに算出。

数値目標は変動が激しい数値で有る為、予定通りで設定。

※電力・節水に関しては2013年度基準値で据え置き様子を見る。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1) 事務所

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組内容)
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	◎		
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	継続	目標を達成。空調設備の入れ替えを行い、エネルギー効率が向上した。今後は証明のLED化を行い、さらに電力消費量を抑えるようにする予定。
・不要照明の消灯	◎	継続	
・不要時のPC電源OFF	○	継続	
・クールビズ、ウォームビズの推奨	◎	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	◎		
・エコドライブの実践	○	継続	目標を達成。社用車の入れ替えにより、エコカーの導入を行った。まだ入れ替えを行い間もない状況であるが、今後のガソリン使用量を抑えられる見込み。
・積載オーバーをしない	○	継続	
・適正な車両整備	○	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標	◎		
・分別の徹底	◎	継続	目標を達成。分別は徹底して行っており、基本的には紙ゴミに関しては完全に分別するように努力しており、次期も継続していく。
・重量把握	◎	継続	
産業廃棄物の削減			
数値目標	/		本年度は本社よりの産業廃棄物は発生しなかった。
・発生量の把握	/	継続	
節水			
数値目標	◎		
・節水シールの貼り付け	○	継続	目標を達成。節水意識は昨年同様に向上しており、引き続き節水意識を高めていく。
・手洗い時、洗い物における日常的な節水の励行	○	継続	
グリーン購入			
・事務用品のグリーン購入の推進	○	継続	さらに購入比率を向上させるようにする。
近隣への環境配慮			
・環境に配慮を行った施工計画書の作成	○	継続	環境に配慮を行った施工計画書の作成率を100%で保てるようにする。

(2) 現場

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組内容)
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	◎		
・エコドライブの実践	○	継続	目標を達成。社用車の入れ替えにより、エコカーの導入を行った。まだ入れ替えを行い間もない状況であるが、今後のガソリン使用量を抑えられる見込み。
・積載オーバーをしない	◎	継続	
・適正な車両整備	○	継続	
発電用燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	○		目標値を達成。使用が有る月と無い月があり、正確な数値目標を把握歯肉状況。活動を継続し様子をみる。
・不要時の停止	○	継続	
産業廃棄物の削減			
数値目標	×		数値目標を達成できず。可能な限りの分別を啓発していく必要がある。
・発生量の抑制	△	継続	
節水			
数値目標	×		目標達成できず。解体現場では散水等による水使用がどうしても抑えられない傾向があるが、不要時には必ず使用をやめるように啓発をしていく。
・無駄な使用を無くす	○	継続	
近隣への環境配慮			
・低騒音・低振動型の重機の完全使用	○	継続	低騒音・低振動型の重機の完全使用を継続して行う。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音・振動規制法	特定建設作業
大気汚染防止法	特定粉じん排出作業・石綿排出作業
オフロード法	バックホウ、ブルドーザー、フォークリフト
フロン排出抑制法	業務用空調機
建設リサイクル法	解体工事
家電リサイクル法	電化製品

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

〇会社周辺の月次清掃状況
～ 当社では毎月月末頃に会社周辺の清掃活動を行っています ～





□代表者による全体の評価と見直し

認証登録より1年が経過し、本活動に対し各社員が積極的に活動できている。
節電による経費の削減にも繋がっており、社員同士のコミュニケーション増加にもなっている。
今後も活動を継続し、環境に優しい解体業者としての地位を確立できるようにしていく。